

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 膜性腎症における complement receptor 1 発現の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター 大森 病院

研究責任者 腎センター 科 職位・氏名 准教授・小口英世

### 【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は 膜性腎症という腎臓病の原因となる抗原を調べることを目的とした研究に利用します。先行する報告 (Kounoue, Oguchi et al. kidney medicine 2024 in press)から膜性腎症における complement receptor 1 の発現を検討する研究です。この研究で得られる成果は、膜性腎症の新しい病態の解明につながります。また、本研究の結果は将来的な研究に二次的に利用される可能性があります。

### 【他機関への提供】

収集した試料・情報は解析・管理のため慶應義塾大学医学部電子顕微鏡研究室(橋口明典医師)に提供します。提供は郵送で行う予定です。

### 【研究に用いられる試料・情報】

**血液、尿検査、腎生検組織、臨床情報など**

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年9月より利用を開始します

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

慶應義塾大学医学部 医学部長 金井 隆典

### 【試料・情報の取得方法】

対象者: 2006年1月～2024年3月までに東邦大学医療センター 大森 病院

腎センター 科において、腎生検をうけられた の方

方法: 上記の期間に腎生検をうけられた方の腎生検組織や診療情報をカルテから抽出をします。その中から膜性腎症と診断された方を抽出させていただきます。

### 【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医学部腎臓学講座 研究代表者: 小口英世

役職: 准教授

**【利用する者の範囲】**

研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の指名を記載してください。

（研究機関が多く、列挙が困難な場合は「代表的な研究機関の名称および当該研究機関の研究責任者指名+利用者に関する属性」または「代表的な研究機関のHPサイト」）

東邦大学医学部腎臓学講座 小口英世（研究責任者）、酒井謙

東邦大学医学部病理学講座 三上哲夫

東邦大学医学部病院病理学講座 栃木直文

慶応義塾大学医学部電子顕微鏡研究室

**【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学医療センター大森病院/東邦大学医学部 小口英世

慶応義塾大学医学部電子顕微鏡研究室（提供先の機関名）

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年12月31日までに（過去に採取した既存試料を利用する場合）下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】** 東邦大学医療センター \_\_\_\_\_ 病院 \_\_\_\_\_ 腎センター \_\_\_\_\_ 科  
職位・氏名 \_\_\_\_\_ 准教授・小口英世 \_\_\_\_\_  
電話 \_\_\_\_\_ 03-3762-4151 \_\_\_\_\_ 内線 \_\_\_\_\_ 6757 \_\_\_\_\_